



TITLE:

## <第2章>資料編(<7>補助金の採択状況と実績)

AUTHOR(S):

---

CITATION:

<第2章>資料編(<7>補助金の採択状況と実績). 京都大学高等教育叢書  
2006, 22: 144-145

ISSUE DATE:

2006-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/54028>

RIGHT:

## 7. 補助金の採択状況と実績

### 科学研究費補助金

#### 平成 12 - 14 年度

基盤研究(B)(1) 代表者：藤岡完治（平成 12 - 13 年度）松下佳代（平成 14 年度）  
「日本における授業研究の方法論の体系化と系譜に関する開発研究」  
（平成 12 年度：4,400 千円 平成 13 年度：2,300 千円 平成 14 年度：1,800 千円）

#### 平成 13 - 15 年度

基盤研究(B)(2) 代表者：田中毎実  
「バーチャルユニバーシティ構築の基礎づけに関する総合的研究」  
（平成 13 年度：6,900 千円 平成 14 年度：4,700 千円 平成 15 年度：3,800 千円）

#### 平成 15 - 16 年度

若手研究(B) 神藤貴昭  
「『大学授業』の異化－大学教育学の構築と対話的 FD の開発に向けて－」  
（平成 15 年度：1,200 千円 平成 16 年度：900 千円）

#### 平成 16 - 18 年度

基盤研究(B) 代表者：田中毎実  
「大学授業実践の質的研究にもとづく電子メディア化と FD ネットワーク」  
（平成 16 年度：7,000 千円 平成 17 年度：3,400 千円 平成 18 年度：4,000 千円）

### 委任経理金

#### 平成 13 年度

第 8 回松下視聴覚教育助成 代表者：田中毎実  
特定課題：新しいメディア活用による高等教育の改革  
「メーリングリストによる共同授業構築と教員の日常的相互研修－インターネットを用いた遠隔大学間合同ゼミ実践を通して－」 1,000 千円

#### 平成 14 年度

財団法人 大川情報通信基金研究助成 代表者：田中毎実  
「遠隔大学間合同授業に関する実践的研究－遠隔授業の可能性の検討－」 1,000 千円

#### 第 20 回カシオ科学振興財団研究助成 代表者：神藤貴昭

「コラボレーション型遠隔授業システムの開発研究－大学における教育学教育の改善に向けて－」 960 千円

平成 14 年度稲盛財団研究助成金 代表者：大山泰宏

「映像メディアを用いた事例研究(ケースメソッド)システムの研究開発」 1,000 千円

#### 平成 17 年度

平成 17 年度稲盛財団研究助成金 代表者：溝上慎一

「自己形成における自己のポジショニング的役割－他者に対する自己の本質の主張を力学的観点から検討する－」 1,000 千円

### 21世紀COE研究拠点形成費補助金

平成 14 － 18 年度

「心の働きの総合的研究教育拠点」(京都大学心理学連合)

分担者：大山泰宏・溝上慎一(平成 14 － 16 年度)、大山泰宏(平成 17 年度～)

### 教育改善推進費(学長裁量経費)

平成 12 年度

- ・「公開実験授業の実施及び成果の公開」 1,400 千円
- ・「大学授業の参加観察による FD の組織化」 2,400 千円

平成 13 年度

- ・「公開実験授業の実践及び成果の公開」 1,300 千円
- ・「大学授業の参加観察による FD の組織化」 2,800 千円
- ・「大学評価に関する研究集会の実施」 1,000 千円

平成 14 年度

- ・「第 2 回大学教育研究集会及び第 9 回大学教育改革フォーラムの実施」 2,200 千円
- ・「遠隔教育システム」 2,900 千円

平成 15 年度

- ・「第 3 回大学教育研究集会及び第 10 回大学教育改革フォーラムの実施」 2,800 千円

### 平成16年度特色ある大学教育支援プログラム

平成 16 － 19 年度

「相互研修型 FD の組織化による教育改善」 担当者：田中每実

(平成 16 年度：15,500 千円 平成 17 年度：15,500 千円 平成 18 年度：15,500 千円

平成 19 年度：15,500 千円(予定))